

宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構 テニュアトラック推進室

宮崎大学各学部の基盤的で重点的な教育分野において、
本学の将来を担うリーダーとなる若手人材を採用し育成します。

本学のテニュアトラック教員は、公正で透明性の高い選抜によりテニュアトラック推進室に採用された若手研究者です。任期付きの雇用形態で、自立した研究者として原則5年のテニュアトラック期間を経て、厳正な審査（テニュア審査）を通過すれば、専門分野を担当する学部等のテニュア職（任期の制限のない職）を得ることができます。

○テニュアトラック教員へのサポート体制

スタートアップ資金を含む研究費の配分、研究時間・スペースの確保、自立するが孤立させない研究環境の整備（トロイカサポーター制度、学系コーディネーターの配置(いずれも教授))、等

○テニュアトラック教員数（2026年5月現在）

- ・在籍者 2名（農学系2名）
- ・OB・OG 19名（教育学部2名、医学部2名、工学部5名、農学部4名、CADIC1名、フロンティア科学総合研究センター1名、他機関4名）

○テニュアトラック教員（在籍者）の研究テーマ

基礎獣医学研究分野
血管炎症モデルを用いた遺伝子の 転写調節メカニズムに関する研究

応用生命化学分野
RNAのポテンシャルを 追求する基礎研究

○外部資金の獲得状況

テニュアトラック推進室は、研究員を含め少数ながら、毎年度7千万円前後の研究費を外部から獲得しています。

特に、科研費については、2024～2025年度には基盤研究(B)3件、2025年度には挑戦的研究(萌芽)1件が代表者として採択されています。

他にも、これまでに、競争的資金である創発的研究支援事業やAMED、NEDOにも獲得実績があります。

テニュアトラック教員は、本学のサポートを受けながら、テニュアトラック期間に集中して研究に取り組むことができます。また、テニュア職となってからは、本学の各方面で活躍されています。

外部資金受入状況(2026年5月現在)

